

登録コード	EKE14900	開講年度	2026				
授業科目	学校教育と市民性					担当教員	越智 康詞 他
英文授業名	School Education and Citizenship					副担当	高柳 充利
単位数	1	講義期間	後期	曜日・時限	火曜・4時限	履修学年	
講義室				授業形態	講義	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)【授業の達成目標】	【授業で得られる「学位授与の方針」】				【授業の達成目標】		
	2 6 E Aカリ, 2 5 E Aカリ, 2 4 E Aカリ						
	教育の専門職としての学識・技能					教育の専門職としての学識・技能について自分なりに考えを深めることができるようになる。	
	社会の一員である教員として生きる意志と倫理観					社会の一員である教員として生きる意志と倫理観について自分なりに考えを深めることができるようになる。	
(2)授業の概要	学校教育と市民性について、多面的な検討を加えることを通し、複雑化・流動化・多様化する社会における学校教育をめぐる課題への応答の可能性を探る。その際、市民性教育に関連した資料を手がかりとし、受講生の発表を交え、討議・考察をすすめる。						
(3)授業計画	第 1 回：授業の目的と予定,受講上の注意,成績評価の方針【遠隔等】（原則としてZoom。参加が難しい場合はオンデマンド。以下も同様） 第 2 回：学校教育と市民性をめぐって(1)：資料の導入的検討【遠隔等】 第 3 回：学校教育と市民性をめぐって(2)：資料の発展的検討【遠隔等】 第 4 回：学校教育と市民性をめぐって(3)：資料の創造的検討【遠隔等】 第 5 回：学校教育における市民生の育成(1)：発表と導入的討議【遠隔等】 第 6 回：学校教育における市民生の育成(2)：発表と発展的討議【遠隔等】 第 7 回：学校教育における市民生の育成(3)：発表と創造的討議【遠隔等】 期末レポート						
(4)成績評価の方法	成績評価は次のような事項を参考に行う予定であるが、受講の状況によって調整・最適化を図る場合もある。 ・ 市民性と教育の課題を探究する討議への参加7回（およそ70％） ・ 市民性と教育の課題を探究する期末レポート1回（およそ30％） ・ 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(5)履修上の注意	授業時間以外において関連資料を用いて課題の探究をすすめることが求められる。						
(6)質問,相談への対応および連絡先	【越智】オフィスアワーの実施場所：N313, 曜日・時間（在室の時はいつでも）。連絡先（研究室電話番号：026-238-4218, メールアドレス：yasushi@shinshu-u.ac.jp） 【高柳】オフィスアワーの実施場所：N316, 曜日・時間（在室の時はいつでも）。連絡先（研究室電話番号：026-238-4215, メールアドレス：takayana@shinshu-u.ac.jp）						
(7)成績評価の基準	(i) 問題の設定が適切であり,(ii) その問題の背景を説明できており,(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており,(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できており,(v) その上で自分の見解を提示できており,かつ,教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。(i) から (v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」。						
(8)事前事後学習の内容について	事前学習：授業で扱われる事項について、関連資料等を用いて課題の探究をすすめること。 事後学習：授業で扱われた事項について、関連資料等を用いて課題の探究をすすめること。 この授業は45時間の学修を必要とする内容である。従って、30時間以上の時間外学習が必要となる。						
【教科書】	指定しない						
【参考書】	授業中に適宜紹介する						